

すい 地域推しんぶん

No.3

発行・編集／社会福祉法人広島市社会福祉協議会 地域福祉推進課 地域福祉係

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号（BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内）

TEL：082-264-6403 FAX：082-264-6413 E-mail：chiiki@shakyohiroshima-city.or.jp

令和5年5月発行

各地区で実施されている子どもを対象にした取組を紹介します。

安佐南区 毘沙門台

新一年生親子交流会

【取組主体：毘沙門台学区社会福祉協議会】

場所：毘沙門台ふれあいセンター絆
（安佐南区毘沙門台2-39-22）

TEL：（082）870-9060



毘沙門台学区では、
子どもたちが楽しめる
行事を開催しています。



地域のマスコットキャラクター

びしやえもん
『毘沙門』

小学校入学前の子どもたちと保護者を対象に、親子同士で顔合せができる交流会を昨年度12～3月の間で3回開催されました。

1回目は6組の親子参加でしたが、毘沙門台学区社会福祉協議会の広報紙や保護者の方の口コミで広がり3回目では20組を超える親子の参加があり、大変盛り上がりました。



作って食べて楽しめる絆で一日体験♡ーン！ 【取組主体：子ども会】

100名を超える子どもたちが参加しました！

令和5年2月19日に、地域の子どもたちを対象としたワークショップをふれあいセンター絆（学区社協の拠点）で開催しました。

アレルギーの子どもにも対応できる「米粉おからドーナツ作り」や、低学年の子どもも一緒に体験できる「革小物作り」等をして楽しみました。



その他に、フットボールや、ソフトボールも開催され、大盛り上がりでした。



すなの
砂野推進委員

共働き世帯が多くなってきており、忙しくされている保護者の方たちもおられる中で、子どもたちに様々な体験をさせてあげたいと思っています。活動があることで人が集まり、人が集まることで地域が活性化していくと思っています。

安芸区
矢野

やの地域・子ども食堂

場所：矢野の家

(安芸区矢野西7丁目7-29)

TEL：090-9468-7729

活動日時：第1・3金曜日

矢野の家代表の上^{うえ}さんに地域こども食堂についてお話を伺いました。



矢野の家は、空き家を活用しながら子どもから高齢者まで誰もが来れる地域の居場所づくりの活動を行っています。

「地域・子ども食堂」は「食べることはつながること、食を通して多世代のつながりをつくりたい」という思いから、子どもの居場所となり、大人と子どもの交流と活躍の場として始めた取組です。

参加対象

だれもが参加できる食堂ですが、子どもは概ね幼児から高校生までを対象にしており、未就学児の子どもたちでも参加できる場となっています。食事の数に限りがあるので予約優先とされていますが毎回50人近い参加があります。

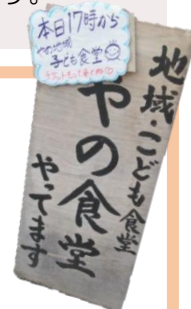
矢野の家を立ち上げる前から共に活動しているスタッフと健康体操の参加者だった方が調理など中心となり担ってくれています。また、立ち上げ当初に参加していた子どもたちも今ではスタッフとして準備や見守りをしてくれるなど、世代に関わらず参加者が支える側になる形が自然と生まれています。

活動を通じて・・・

立ち上げ当初は、子ども食堂＝貧困家庭にある子どもが集う場という印象もあり、居場所として理解をしてもらうことが難しかったです。

それでも活動を行っていく中で、理解のある学校の先生との出会いやスタッフを担ってくれる地域の皆さんの声、参加する子どもたちの笑顔を通じて少しずつ理解が広まり、子どもの居場所の一つとして今の形になってきたと思います。

参加当初は大人しかた子どもたちも参加を重ねるうちに、普段の生活の中でも、声をかけてくれたりするなど「つながり」を実感しています。



～今後の思いや取組みたいこと～

居場所づくりや世代を超えて「つながり」を作りながら、地域で子どもたちを育てるということは、将来地域で支えてくれる担い手を育てることにつながっていくと思います。

しかし、こども食堂のような居場所づくりをしていく上で、財政面というのは大きな課題です。立ち上げ当初は助成金を活用しながら運営していました。現在は自分たちが大切にしてきた「食」を形にした「やの屋」（協同労働）として事業を行うことで、長年続けてきた居場所づくりの活動を支えていく仕組みづくりを行っています。

今後も継続性のある活動にしていけるよう、支えてくれるスタッフと共に地域の子どもの笑顔に力を変えて取組んでいきたいと思っています。



▲初めてのバイキング形式で♪





代表者の鳥山^{とりやま}さんに Cozy Rosy での活動についてお話を伺いました。



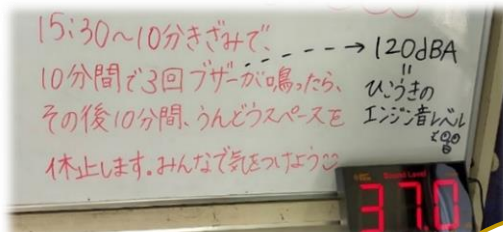
集会所内で他の団体が活動している際には、室内に騒音計測モニターを設置し、ルールを設けています。子どもたち自身がうるさくならないよう数値を見て気を付け、声掛けし合える工夫をしています。

また、子どもたちが Cozy Rosy に来ていることが分かるよう、入退室管理システムを活用し、希望する保護者には来所時間と退所時間のお知らせが届きます。

放課後に子どもたちが自由に行ける場所として地域の集会所を借りてフリースペースを開いています。学校でも家庭でもない、子どもたちが行きたい時に自由に行けて人と過ごせる場所、居場所が地域の中に一つでも多くあればと思い始めました。

Cozy Rosy での過ごし方は自由です。学習スペースでは勉強や工作などを行うことができます。学習サポートもしていますが、子どもたち同士で教え合う姿も多く見られて微笑ましいですよ。遊びスペースでは、室内用の遊び道具を使って遊ぶことができます。

学校の長期休み中は、午前中に活動しています。



▲騒音計測モニター

大きな窓があるので中の様子を見て、立ち寄ってくれる子もいます。



代表者の鳥山^{とりやま}さん▶



活動を通して

活動を通して、子どもたちと会えることが毎回何よりも楽しみです。また、子どもたちが自分でこの場所を選んで来てくれて時間を過ごしてくれることがとても嬉しいです。学校や家庭とはまた別の環境で、子どもたちの様子を見ることができることもこの活動のおもしろさだと思っています。



◀工作イベントの様子



今後に向けて

今後の取組として、コロナが落ちついてきたので、地域の大人と子どもたちをつなぐ機会をつくれたらと考えています。

子どもたちにとって、温かく見守ってくれる顔見知りの大人、「味方」が地域に多くいることを実感できることはとても心強く大切なことだと思います！

西区 井口台

井口台子ども見守り隊



井口台地区社協の地域福祉推進委員でもある井口台子ども見守り隊代表の青原^{あおはら}さんにお話を伺いました。



▲小学校から家まで、30分程度一緒に歩くこともあります。

井口台子ども見守り隊は、小学校下校時に加えて、井口台放課後児童クラブを利用する子どもたちの退館時の見守りも行っています。

放課後児童クラブ退館時の見守りでは、小学校で決められている四つの登下校コースにそれぞれスタッフが付きまします。

歩道からはみ出て歩く子には注意を行い、行き交う住民の方と挨拶を交わしながら、子どもたちが家の玄関に入るところまで見守りを行っています。

活動のきっかけ

子どもたちが放課後児童クラブから退館する時間は遅く危険があるのではないかと、また共働き世帯の増加で、保護者が子どもを迎えにくのが難しいため、誰かが子どもたちの見守りをすることで保護者の方に安心していただけるのではないかとこの思いから「まずはやってみよう！」という気持ちで活動を開始しました。

スタッフ体制

男性20名、女性10名の合計30名が当番制で活動をしています。

活動日については、各スタッフの要望を勘案し当番を決めて、当番表を作成し、スタッフや児童館に配布をしています。



活動を通じて

この活動をして良かったことは、年々子どもたちの成長していく姿をみることができるところと、子どもたちと一緒に歩くことで自身の健康づくりにもつながることです。スタッフは孫やひ孫世代の子どもたちと会話することに喜びを感じ、子どもたちから元気をもらっています。



今後に向けて

これからは、一緒に活動をしていくメンバーの発掘にも力を入れていきたいと考えています。高齢化が進む地域を活性化していくためには、若い子育て世代の増加が必要だと考えています。

子どもが安全に登下校でき、安心して遊ぶことができる地域にしていくには、見守り活動の充実が重要です。

今後、スタッフ増強を図り、より細やかな見守り活動を目指していきたいと思っています。